

《どうでもいい話、その 522》

どうでもよくない皆様へ

こんにちは！寒中お見舞い申し上げます。

ボランティアを行っている小学校特別支援学級の音楽授業は、配られた歌集の中から子供たちがリクエストした曲を、音楽の先生が弾くキーボードの伴奏で唄います。その歌集はポピュラーな曲が30曲ほど載っていますが、この中には教育上好ましくない歌詞があります。例えば「桃太郎」の1番「♪桃太郎さん桃太郎さん お腰につけたきびだんご ひとつ私にくださいな」の要求に対し、2番は「♪やりましょうやりましょう これから鬼の征伐に ついていくならやりましょう」です。命を落とすかもしれない鬼との戦いの代償がきびだんごひとつだけ、弱みに付け込んだブラック企業もいいところですか。また「南の島のハメハメハ大王」の2番は、奥さん女王の歌で「♪とてもやさしい奥さんで 朝日の後で起きてきて 夕日の前に寝てしまう・・・」3番は子供の歌「♪学校嫌いの子供らで 風が吹いたら遅刻して 雨が降ったらお休みで・・・」と、グータラ家族の歌です。そして「あんたがたどこさ」は「♪せんば山にはたぬきがおってさ それを猟師が鉄砲で打ってさ 煮てさ 焼いてさ 食ってさ」と非情残酷です。てるてる坊主の3番は「♪てるてる坊主てる坊主 あした天気にしておくれ それでも曇って泣いたなら そなたの首を チョン切るぞ」命令に逆らったら斬首刑、どこかの国の独裁者と同じです。

岩波より